



## 第一礼拝次第

メッセージ：渡真利彦文牧師  
 プレイズリード：郭永東牧師

前奏			
頌栄	5 4 0	会衆	会衆
主の祈り			
	「イエスのように」		
プレイズ	「永遠にあなたと」	会衆	会衆
	「主は今生きておられる」		
聖書朗読	マタイ 5:9	司会	司会
	(新約聖書 p6)		
祈賛	9 0	司会	司会
朗読劇	「強制集団死から 生かされて」	牧師	牧師
祈賛	5 3 1	司会	司会
献金祈禱	信徒クラス		
修了式・証			
報告	新生 6 7 2b	司会	司会
頌栄		会衆	会衆
祝禱		牧	牧



## 第二礼拝次第

メッセージ：アドリアン・アルセ師  
 司会：エゼキエル・アルセ兄

*Come and see. Let's praise the Lord*



## ファミリー礼拝

司会：渡真利千佳子姉

聖書：Iヨハネ 5:6~15  
 メッセージ：「永遠の命イエス・キリスト」

## <巻頭言>

「語り継ぐ沖繩戦」

牧師 渡真利彦文

昨年、連盟の宣教部平和委員会を中心に、教育部女性会役員会の協力により戦後 75 周年を覚え、朗読劇が制作された。「語り継ぐ沖繩戦～渡嘉敷島『強制集団死』から生かされて」と題し、戦争の生き残りであられる金城重明氏の戦争体験をもとに書き上げたオリジナル作品である。劇中、実体験に基づく戦場の証言は心を打つ。

臨場感あふれる朗読劇は、劇の中に自分を投影するかのよう迫ってくる、それは痛み・驚き・悲しみなどである。特に怒りと悲しみに満ちた場面は、金城氏の母親そして家族が殺害される場面で、家族の中で最初に犠牲となった一番大切なおかあを殺すシーンだった。ひもで首を絞め、母の頭を何度も、何度も殴っていく……。悲痛なおかあの声、涙なくしては聞けない修羅場である。そしておとう、弟、妹たちを次々に手にかけていく情景は二度とこのようなことがあってはならないと強く心に響く。周りからも殺すのに手を貸してくれと頼まれ、さらなる悲劇が続いていく。

敗戦のあと、生きていてもしょうがない、人生に希望を持つことができない金城氏は、イエス・キリストの十字架に出会い、十字架の苦しみと自分の苦しみが重なり、共にいて共に苦しむキリストを経験し、人生を前向きに生きることになる。二度と戦争の惨事を繰り返してはいけない、平和をつくり出す証言を続けなければいけないと最後に述べられた。